



上田商店 ニュース

vol. 100

平成19年7月17日(火)

制作: 上田商店サークル会
AM8:00送信



社 長	専 務	部 長		

—上田サークル会 例会報告—

今回は、「業界の変遷」と「今後の展開」について話し合いました

▶主にこの10年の業界の変遷

バブル崩壊後、消費が低迷する中、衣料関係で低価格店が話題となりチェーン店展開により大きく伸長した。家庭洗濯では、大型洗濯機や家庭用ドライ洗剤の普及に伴い年間クリーニング代は'92年をピークに下降の一途を辿っている。クリーニング所数は、平成に入っても依然微減状態が続き、取次店は'98年、一般施設は'97年がピークである。

今後は、施設数増加こそ大きく望めないものの、客単価を上げるような努力が必要になってくるものと思われる。

■クリーニング需要の推移

年	クリーニング所数 (1)	取次所 (2)	計 (1)×(2)	全国年間洗濯代 (億円)(3)×(4)	世 帯 数 (3)	1世帯当りの年間 洗濯代(円)(4)
'92	51,669	102,141	153,810	8,289	43,077,126	19,243
'97	49,215	115,010	164,225	7,122	46,156,796	15,429
'98	48,103	115,896	163,999	6,723	46,811,712	14,361
'99	47,324	115,703	163,027	6,534	47,419,905	13,778
'00	46,595	115,752	162,347	5,981	48,015,251	12,456
'01	45,848	113,953	159,801	5,364	48,637,789	11,029
'02	44,505	112,607	157,112	5,332	49,260,791	10,825
'03	44,041	111,068	155,109	5,018	49,837,731	10,069
'04	42,664	108,089	150,753	5,008	50,382,081	9,941
'05	41,998	105,134	147,132	4,847	51,102,005	9,485

●出典：(1)(2)厚生省生活衛生局指導課・環境衛生関係営業施設数調べ
(3)総務省「住民基本台帳に基づく世帯数」 (4)総務省統計局・家計調査報告

▶今後の展開 —— サークル会の意見・提案をまとめました。参考にしてください。

●受付での接客対応が大きなウェイトを占めるように思います。笑顔の対応はもちろんの事、商品販売の声かけ運動や繊維に関しての情報発信地になればお客様の見方も変わるのではないのでしょうか

●お客様からいただいたクレームや要望を工場に反映できるような仕組み作りが大事になると思います。
風通しのいい環境作りが大切ですね。

●価格競争が激しい昨今ですが、値段だけでなくお客様が足を運んでもらえる店作りや特徴を前面に出して行けばいいと思います。
例えば、季節に応じて「桜まつり」や「夏まつり」等のイベントを開催して遊び心を演出してみてもどうでしょうか？

●石油製品の高騰がなかなか落ち着く要素を見せない中、いかに料金に反映していけるかが大きなポイントだと思います。
お客様に納得してもらえるように付加価値加工等をうまく利用してみてもどうでしょうか？

●ポリ、ハンガー等のプラスチック製品の自主回収が義務化される可能性もあり、この機会に、会社ぐるみで環境破壊防止に取り組んでいる姿勢をお客様に理解していただけるようなPRも大事だと思います。

●工場内の5S・ドライ液管理の徹底・しみ抜き技術等を心がけ、時には一般消費者に工場見学を実施してみてもどうでしょうか？
なかなか一般の方が見る機会がないので喜ばれると思いますし、又お客様との信頼関係も深まるのではないのでしょうか？

おかげさまで100号(10年)を迎えました

この度、上田商店ニュースが記念すべき100号を迎える事ができました。
改めまして皆様方の日頃のご愛読に深く感謝いたしております。

思い起こせば10年前クリーニング需要が下降し始めた頃、微力ながら消費者の立場で何か業界に提案ができないかを考え始めFAXによる情報提案を思いつきました。
当時、何の了承も得ずに土足で踏み入るようなFAXの配信に抵抗はありましたが、お客様より数々の激励のお言葉をいただき勇気付けられた事を思い出します。

内容については弊社仕入メーカー様に呼びかけ「上田サークル会」なるものを結成し、毎月テーマを決めて話し合い、時には見学に出かけ記事を作成して参りました。

10年ひと昔とは今は死語になりつつありますが、長い歳月にクリーニング業界も様変わりを遂げてきたように思います。取次ぎ店から直営店への移行、大量生産から小ロット生産へ、又最近ではデリバリーシステムやコイン併設店の出現、工場では環境改善を念頭に置いた取り組みを実践されておられる会社も増えて参りました。

先日、情報誌で現代の消費キーワードは「感動」「健康」「安全・安心」「癒し」の4項目が今後の大きなポイントになると言った記事を読みました。クリーニングはこの4要素を満たす事ができる数少ない商売だと思います。安心して預けた服が、菌を排除して健康的に仕上がり、“ありがとう”と感動してもらえる事でおお客様の心を癒す事ができる素晴らしい商売だと思います。

上田商店ニュースもサークル会メンバーと共に今後も益々パワーアップして少しでも皆様方に喜んでいただける内容をめざして頑張ります。

今後共よろしく願い申し上げます。 上田サークル会 会長 上田 良堂

新商品

ハンガーの回収促進、整理保管用に

ハンガーリサイクル 回収ストッカー



- 店舗のカウンターに置いていただく事でハンガーのリサイクルをアピールできます
- 店舗での整理・保管ができるため、後処理になっている時間が不要となります
- 当社シンプルリードで約50本保管できます

- 商品名：ハンガーリサイクル回収ストッカー（組立て式・ステッカー付）
- 材 質：PP（ポリプロピレン） ■色：乳白色
- サイズ：幅 45cm / 高さ 46cm ■定価：650円

《製造元》 マルソー産業株式会社 TEL：093-481-1122
FAX：093-481-3639

この情報に関するお問い合わせ・ご注文は、
お気軽に右記の(株)上田商店 までお願いいたします。

☐電 話 06(6633)4621
☐FAX 06(6633)4625

担当：上田
(24時間受付中)

☐営業時間 AM 9:30～PM 5:00(月～金)
☐URL <http://www.uedashouten.jp/>